

2020年10月9,12日  
JPCOARオープンアクセス新任担当者研修(オンライン)

# ゴールドオープンアクセスの 動向

北海道大学附属図書館  
山形 知実



# 目次

## 大学事務とGold OAの接点

- ①会計担当部署編
- ②研究支援部署編
- ③図書館編

## 海外の動向

- ①国家政策の面から
- ②公的資金による成果公開の面から
- ③経済的南北問題の面から
- ④購読費逼迫の面から

## 現状と目的地の再確認



# Open Access(OA)    おーぱんあくせす

インターネット上で、論文等の学術情報を誰もが無料で利用できるようにすること

グリーンロードでない場合、利用者に無料でアクセスを提供するためには、**なんらかの方法**で出版経費等を賄う必要がある



# Gold OA ごーると・おーえー

出版費用を著者側(所属機関や資金提供者含む)が負担するOA化方法

学術雑誌のうち、  
すべての掲載論文がOA→フルOA誌  
出版費用を支払った一部論文のみOA→ハイブリッドOA誌



# APC えー・ぴー・しー

Article Processing Chargeの略。論文出版料のこと。

類義語

BPC(Book Processing Charge:書籍出版料)

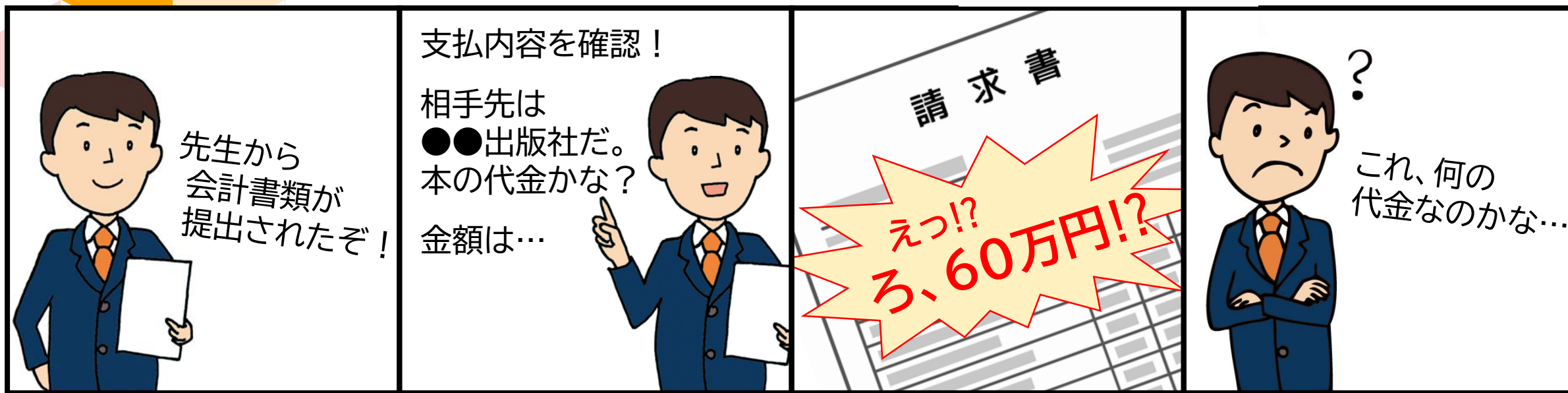


# 大学事務と Gold OAの接点

ある日ある大学の〇〇部署にて



# 会計担当部署編



# APC額は、学術雑誌により大きく異なる

平均は2000USD程度と言われている

出版社/APC額(USD)	From	To
Elsevier	150	5,900
Springer Nature	690	5,380
Wiley	600	5,200

Elsevier. Pricing. <https://www.elsevier.com/about/policies/pricing>

Springer Nature. Open access journals. <https://www.springernature.com/gp/open-research/journals-books/journals>

Wiley. Article Publication Charges (APCs). <https://authorservices.wiley.com/author-resources/Journal-Authors/open-access/article-publication-charges.html>



# 大学としての支出・・・増加中？

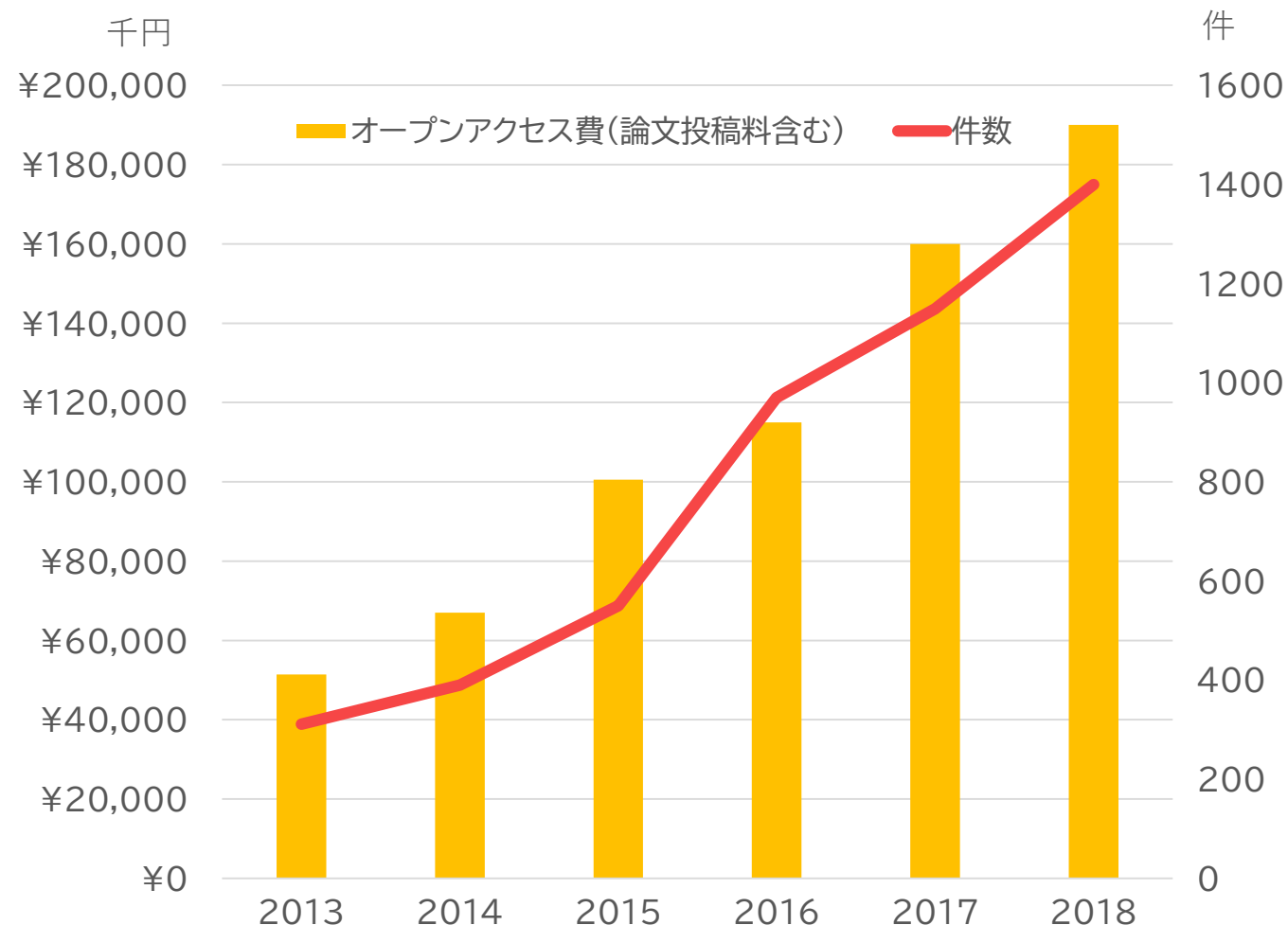
## 京都大学におけるオープンアクセス費 (APC)・論文投稿料

2016年度：

**財務会計システムから**、摘要欄に「論文投稿料」と入力されたデータを抽出して集計。  
学会参加費等、オープンアクセスにかかるAPC以外の経費を含む可能性あり。

2017・2018年度：

**財務会計システムから**、摘要欄に「論文」、「オープンアクセス」、「Open Access」のいずれかを含むデータを抽出して集計。  
論文投稿・掲載に関係しないデータは除外しているが、APC以外の論文投稿料も含む。  
集計時点での推計値につき変動の可能性あり。

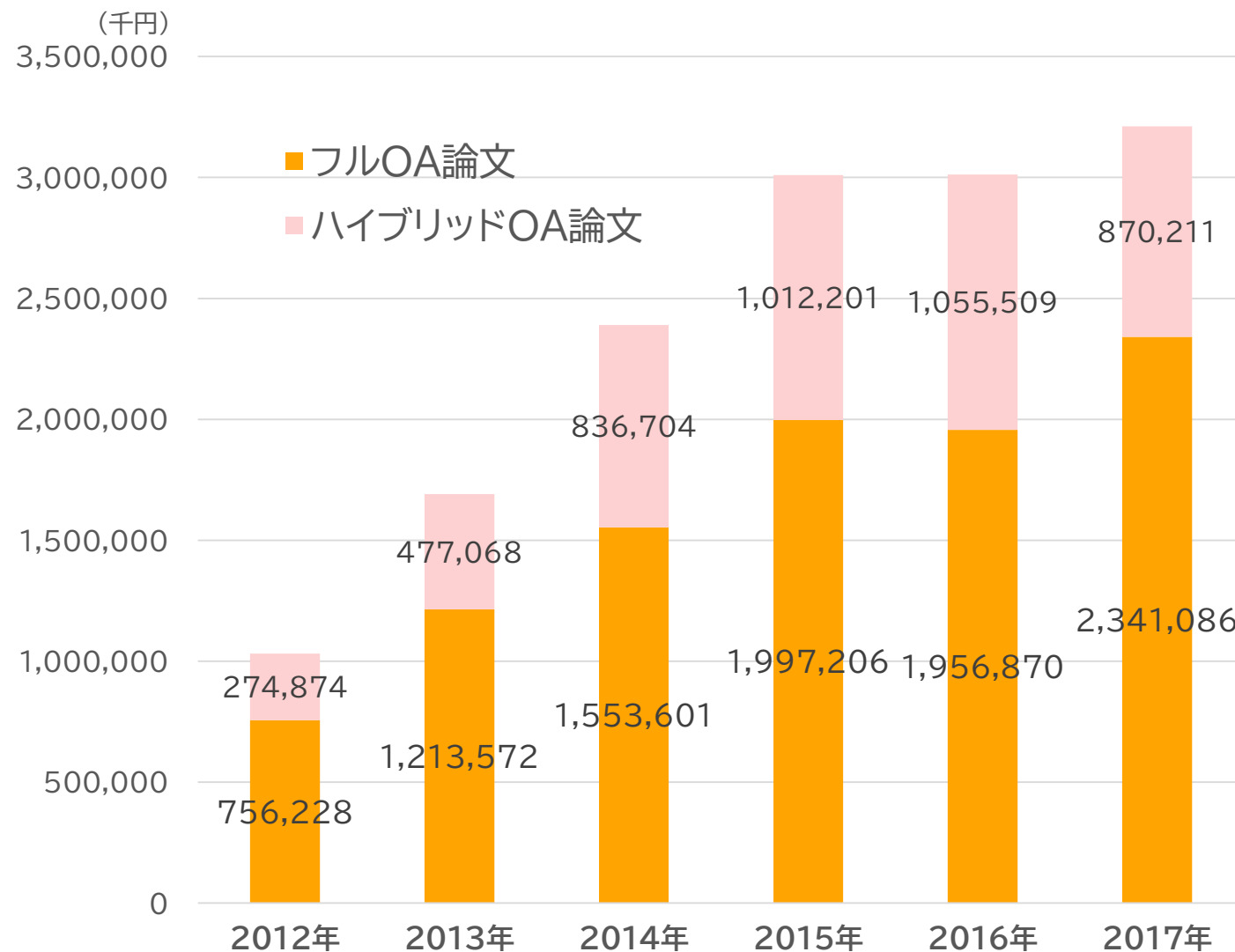


# 日本としての支出・・・増加中？

APC 支払推定額の推移および  
各年の内訳

Clarivate Analytics社のWeb  
of Scienceデータと、独自作成の  
APC価格リスト・名寄せリスト・為替  
レートリスト等を用いた**推計値**

支払推定額の合計は、  
2012年の10億円から、  
2017年には32億円に増加

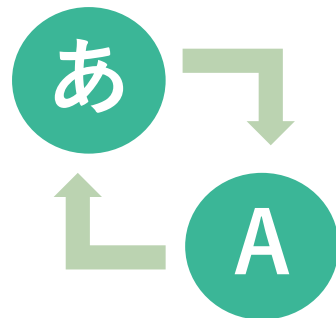


# 研究支援担当部署編

若手研究者の  
支援制度あります！



英文校閲の費用を補助



国際学会での  
発表費用を補助



最近はAPCも  
対象です！



# 海外発信支援事業（海外発信支援委員会）

ホーム > 研究 > 学内教員・研究者用サイト（事務室からのお知らせ） >

海外発信支援事業（海外発信支援委員会）

## 学内教員・研究者用 サイト

海外発信支援事業



研究費の使用



学会出張旅費

国際学会参加渡航費助成

在外研究員制度

## 「投稿料・掲載料(オープンアクセス料含む)」の助成について（2020年度）

※追加募集（一人あたりの申請論文数を2論文までとします）を開始しました（2020年8月19日）

### 1 募集内容

#### （1）助成対象

以下に掲げる学術成果に対して、投稿料・掲載料（オープンアクセス料を含む）を助成します。

（ア）学術的刊行物等（論集、雑誌及び電子媒体によるものを含む）への投稿又は掲載を申請日から1年以内に予定する未発表の論文等（共著を含む。）であって、



# 査読付国際ジャーナル 論文投稿支援事業

研究推進機構では、本学の研究成果に対する注目を高め、学術コミュニティや広く社会へ貢献するため、影響度の高い国際学術ジャーナルへの投稿論文のオープンアクセス（OA）化の推進と、研究キャリアの初期段階にある研究者による影響度の高い国際ジャーナルへの論文投稿を支援するため、論文投稿料の補助を実施します。

なお、本事業は横浜国立大学基金の支援を受け実施されるものです。

>>[お申し込みはこちら](#)<<

## 支援内容

下記A・B2つの支援タイプがあります。

### A) ハイインパクトOA支援型

- 対象者：当該年度に本学に所属しているすべての常勤教員（特任教員含む）
- 対象論文：申請時点における最新のJournal Impact Factorランク（分野別）**上位25%（Q1）**に属するジャーナルへ投稿される学術論文。
- 対象経費：**オープンアクセス化費用（APC等）のみ**  
※OA以外は対象外。
- 支援金額：最大20万円まで
- 2020年4月1日（水）～2020年11月27日（金）までに財務会計システムへの入力完了し、当該年度経費で大学から支出されるもの。※ただし、支援確定後支払い手続きを行う場合は事前相談にて対応します。

# 図書館編

そろそろ、来年の  
電子ジャーナル契約を  
検討する  
時期ですね



出版社の提案の中から、  
本学に合ったプランを  
選びたい  
ですね



ふむふむ…

貴学専用★  
個別タイトル契約

安心と満足の  
フルパッケージ

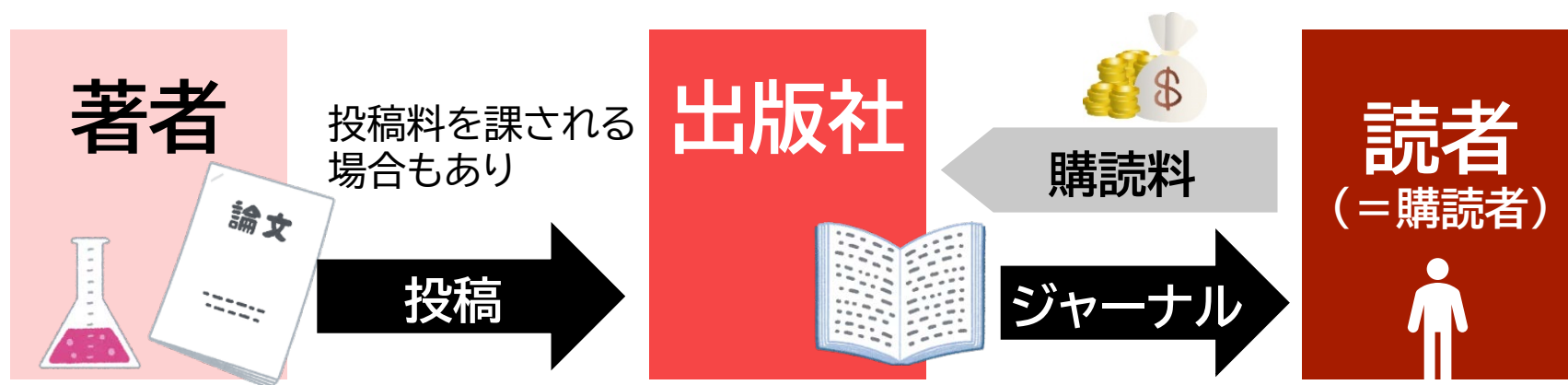
新モデル登場！  
Read & Publish



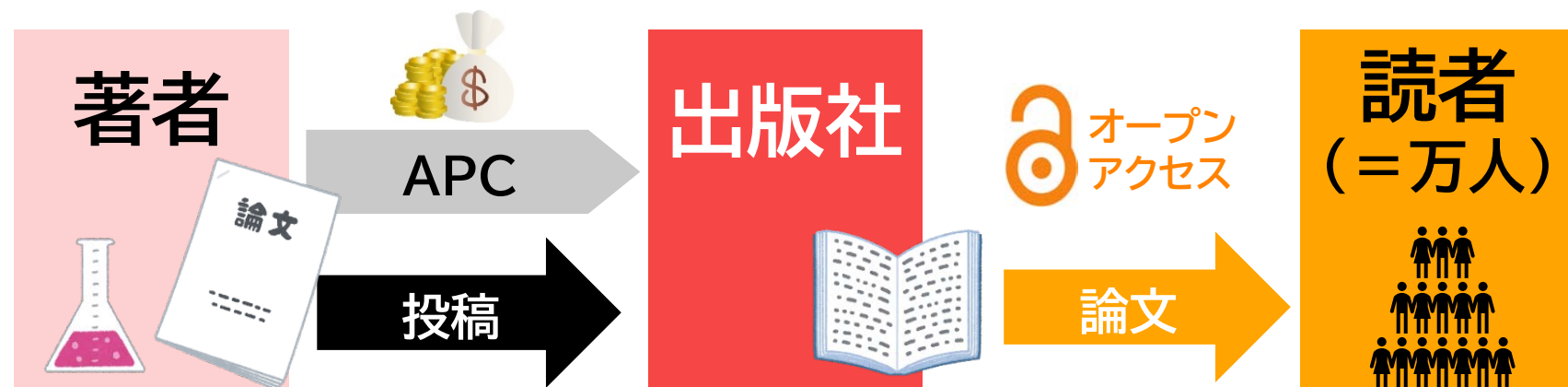
結局どれがベストなんだ？



## 購読モデル

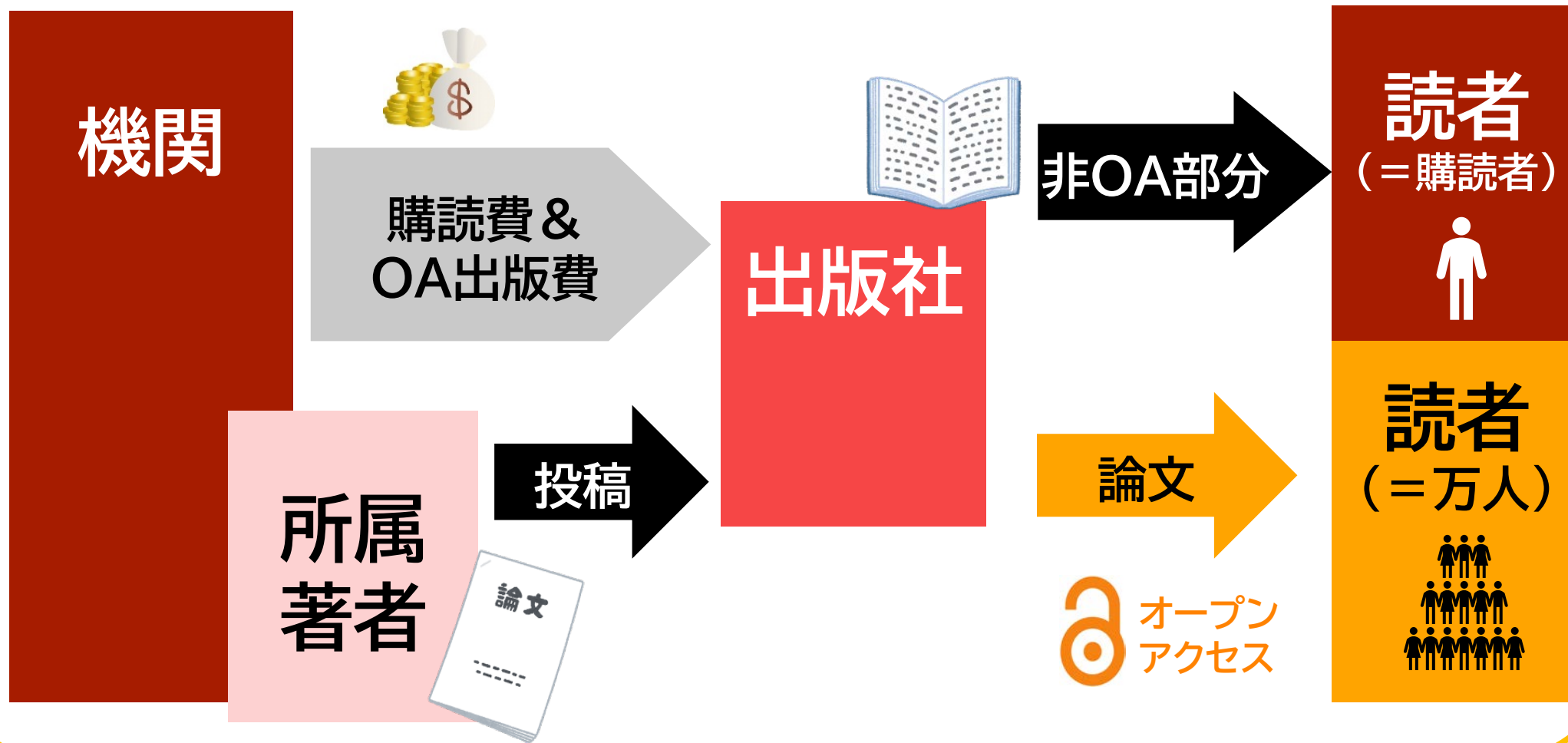


## OA出版モデル(著者による個別支払)



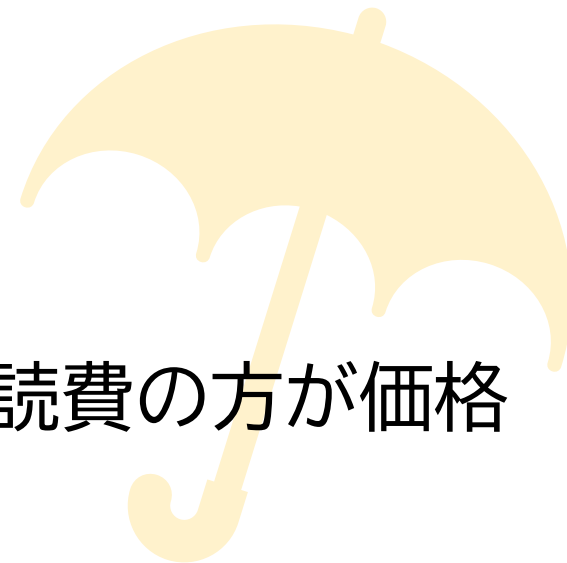


# OA出版モデル(機関による包括契約)





# Transformative agreement (移行契約、転換契約)の色々



## ◆ Read & Publish

APCと購読料の一括払い金額を算出する際、購読費の方が価格算出のベースとなるモデル

## ◆ Publish & Read/Publish & Access

出版費が価格算出のベースとなるモデル



# Transformative agreement (移行契約、転換契約)の色々

## ◆ Offset Agreement

移行契約のパイロットが始まった初期の頃、APCと購読料の2重払い回避を強く意識して使われていた呼び方

## ◆ Springer Compactなど

出版社が自社のモデルにつける独自のネーミング





ニュース

News

資料の検索

Search & Find

サービス

Services

利用者別案内

User Index

コレクション・刊行物

Collections & Publications

図書館について

About the Library

🏠 > ニュース > オープンアクセス論文に関わる費用の免除につきまして (CUP)

## News

ニュース



# オープンアクセス論文に関わる費用の免除につきまして (CUP)

早稲田大学では、2020年よりCambridge University Press（以下、CUP）とRead & Publish（以下、RAP）モデル<sup>\*1</sup>契約を締結することとなりました。この契約により、CUPが刊行するジャーナルのオープンアクセス（以下、OA）<sup>\*2</sup>対象誌へ、論文著者（Corresponding AuthorまたはFirst Author）が自らの論文をOA出版する際の費用<sup>\*3</sup>が免除されることとなります。適用条件等、詳細は下記をご参照ください。

なお、「学術論文に係る補助制度」等の他の学内制度における支援対象とは対象者の範囲が異なりますのでご注意ください。

# 海外の動向

目的地を見定めるための参考として





Gold OAをめぐる動向には多様な側面があり、  
向かうべき方向の判断基準は1つではない。

# 国家政策の面から：イギリス

- ◆ 2012年「フィンチ・レポート」の提言以降、  
国としてゴールド路線によるOAを強力に推進
- ◆ Jiscコンソーシアムによる機関向けOA出版モデル導入
- ◆ 資金助成機関から大学等へのブロックグラント

	2014/2015	2015/2016	2016/2017
UKRI ブロックグラント付与額(£)	19.8M	22.8M	14M
APC助成が行われた論文数	6,870件	9,509件	10,121件
APC助成額(£) (前年のブロックグラントからの繰越含む)	10.8M	15.9M	18.3M

# 国家政策の面から：オランダ

- ◆ 2024年までに国内論文100%OA化という政府目標
- ◆ VSNU(オランダ大学協会)が各出版社と交渉
- ◆ 学長も交渉のテーブルに着く
- ◆ これまでの購読料を振り替えるという考え方

# [プレスリリース] シュプリンガー・ネイチャーの転換契約により、 国家レベルでのオープンアクセスへの移行が実現

**SPRINGER NATURE**

シュプリンガー・ネイチャーと各国との転換契約は、オープンアクセスへの移行を推進して、OA出版を行う著者を全体の70%超へと大幅に増加させるとともに、国家レベルでの「急速な転換」につながることで、最新データから明らかに

ロンドン | ベルリン 2020年8月25日

転換契約（TA ; Transformative Agreement）<sup>\*a</sup>は、国レベルでの完全なオープンアクセス（OA）環境への持続的かつ効率的な転換を可能にするうえで、影響力かつ推進力のあるものであり続けています。このたび、シュプリンガー・ネイチャーが発表した、国家レベルでのTA締結がもたらすOA出版の増加に関する最新データから、当社とTAを締結した国はいずれも、完全OAへの急速な転換が可能であることが明らかになりました。



# OA2020

o p e n   a c c e s s  
2 0 2 0

## 学術雑誌のOAへの転換を目指す国際的なイニシアティブ

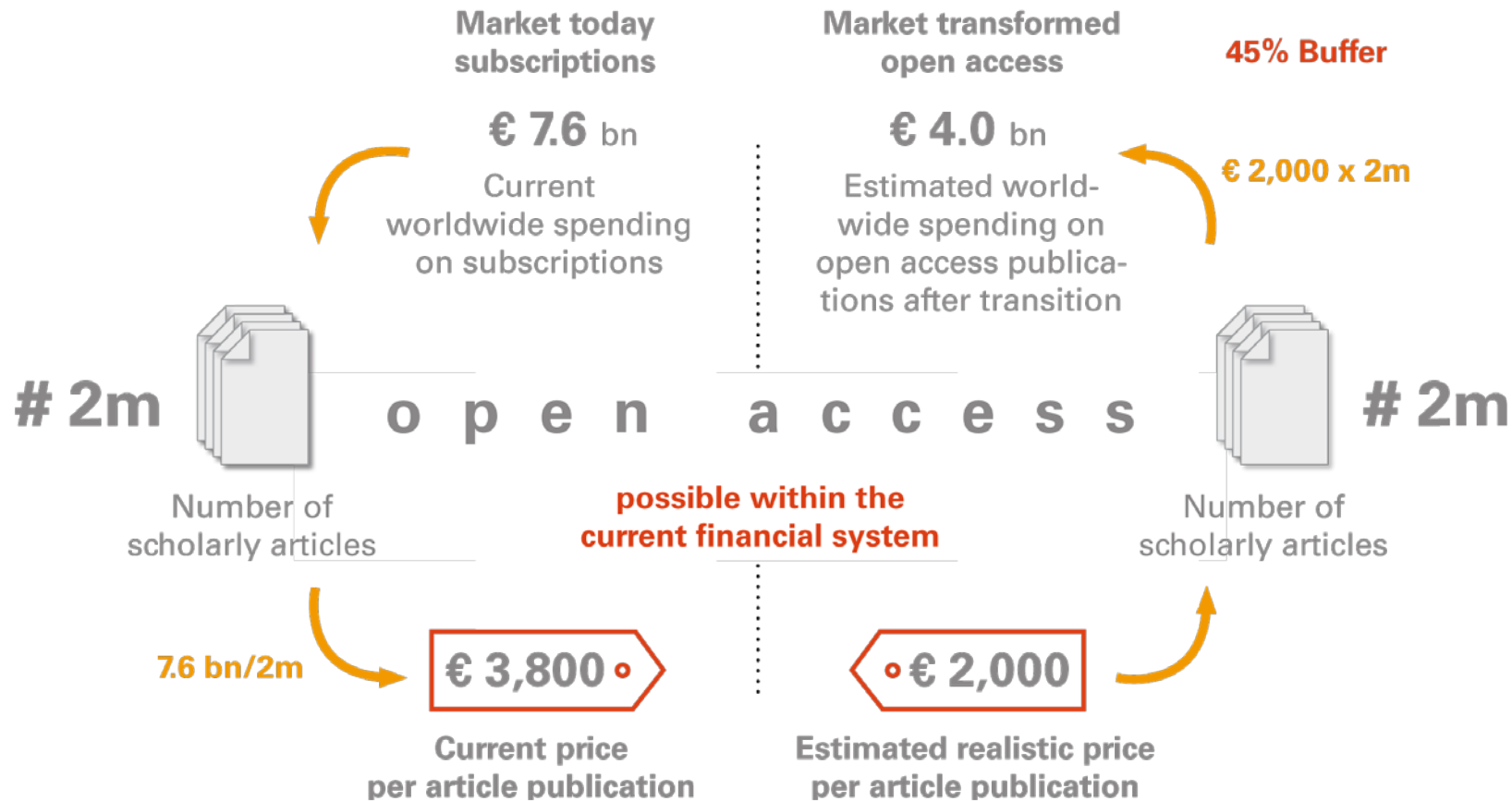
- ◆2016年～、ドイツのマックスプランク研究所が主導
- ◆2020年までに主要学術雑誌をOAに転換することが目標
- ◆41か国138機関が関心表明に署名
- ◆日本からはJUSTICEと物性グループが署名

## 特徴

- ◆購読モデルを撤廃し、OA出版モデルに転換することによる迅速・円滑なOA化の実現を主張
- ◆データやエビデンスに基づく主張

# 市場には既に十分な資金がある、という考え方

## Worldwide Publishing Market



# 助成金による成果公開の面から

## cOAlition S

- ◆ 2018年9月、Science Europeが発表した助成機関のためのイニシアティブ
- ◆ 公的助成を受けた研究成果の2021年以降即時OA義務化を目指す
- ◆ 実現のための10原則「Plan S」は、ハイブリッドOA誌への投稿は非推奨・CC-BYライセンスでの公開がデフォルトなどかなり強気な内容

---

## Supported by



---

## National funders



---

## Charitable and international funders & research organisations



---

## European funders



# 経済的南北問題の面から

◆ Paywall(購読の壁)も、Publication wall(出版の壁)もあるべきではない

◆ APCベースのGold OAによらない方法の模索

◆ **ダイヤモンドOA**

著者及び読者のいずれも費用負担をしないOAモデル。  
学会や関係機関が費用を負担し、非営利・非APCベースで論文をOA出版する



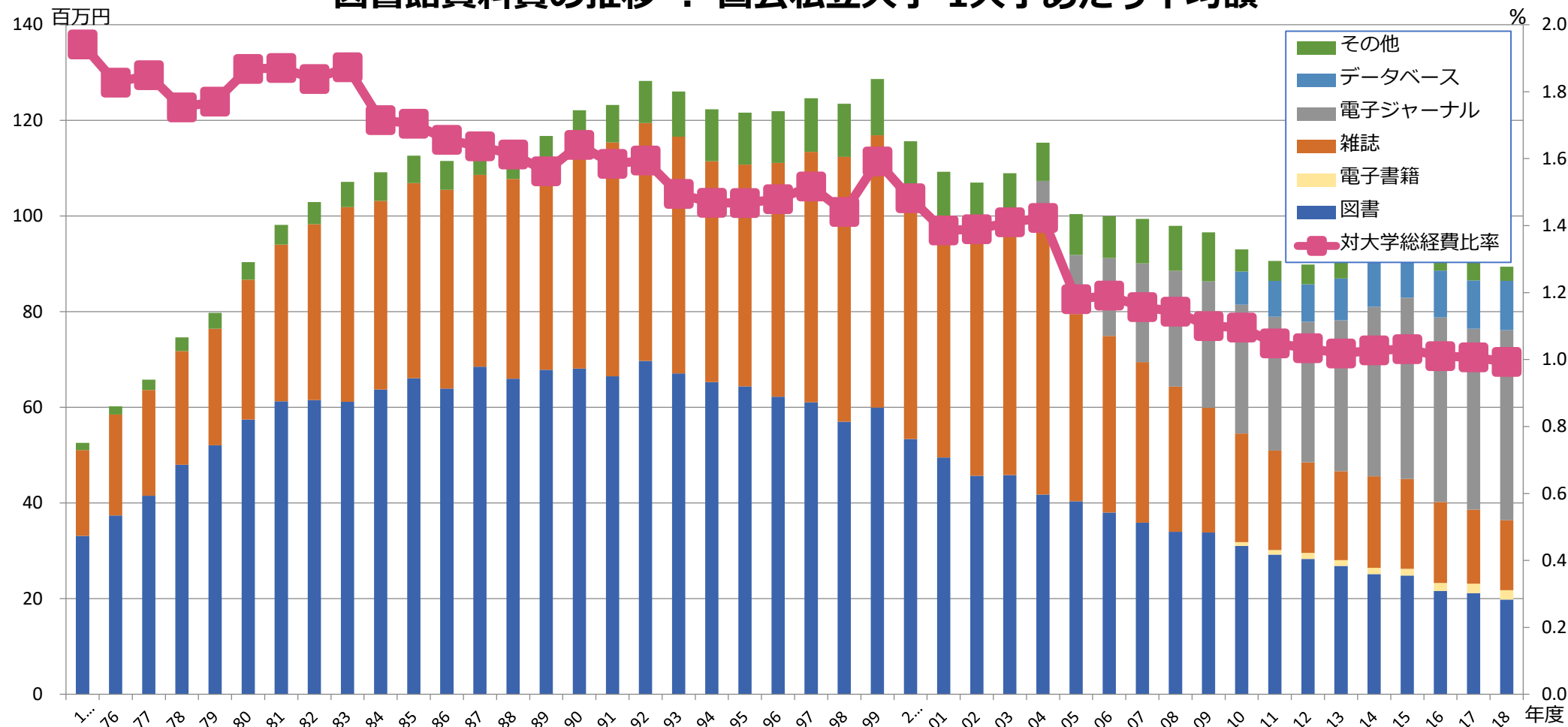


# ジュシュー宣言「Bibliodiversityの形成を」 現状は、多様性の出現？OA運動の分断？



# 購読費逼迫の面から

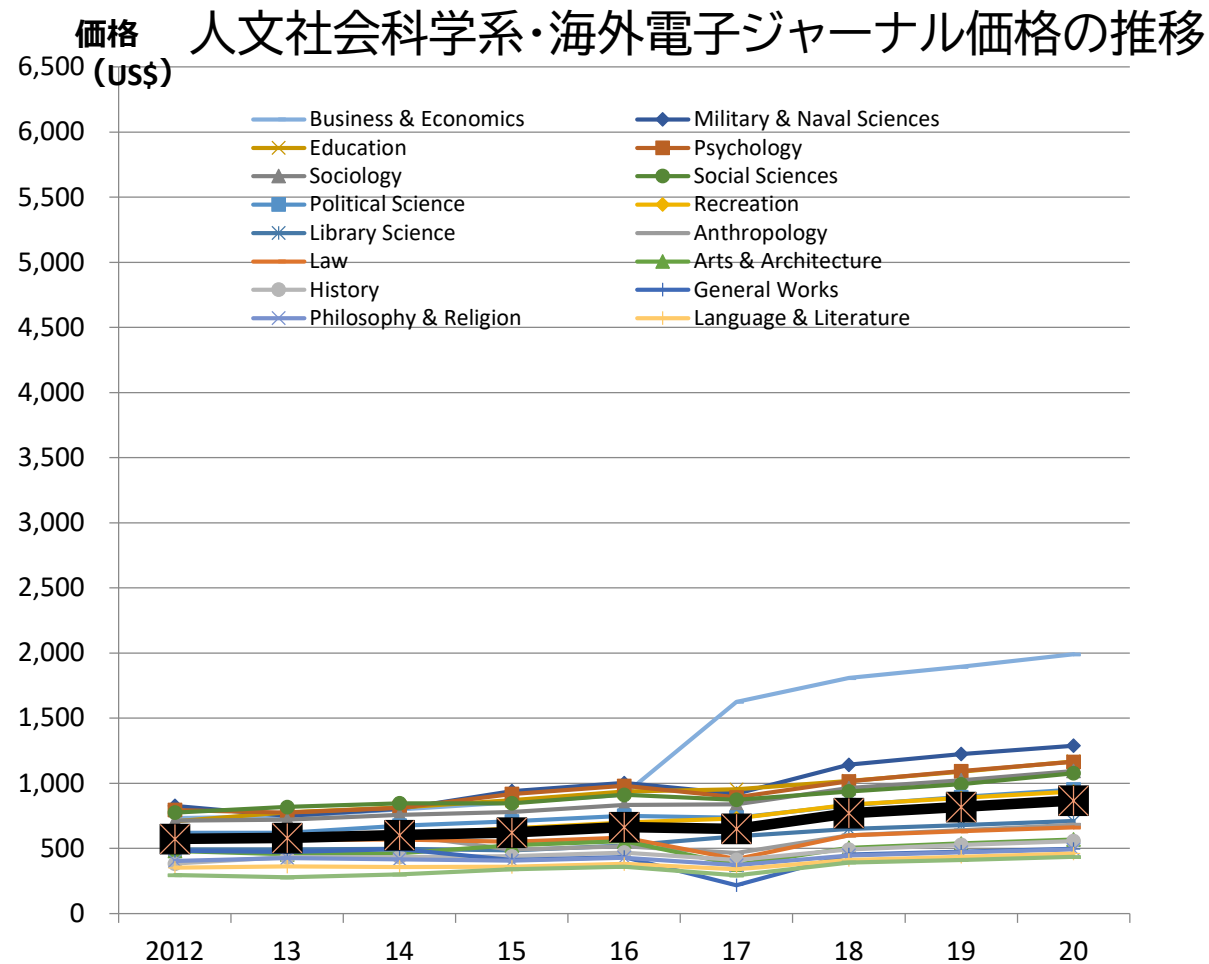
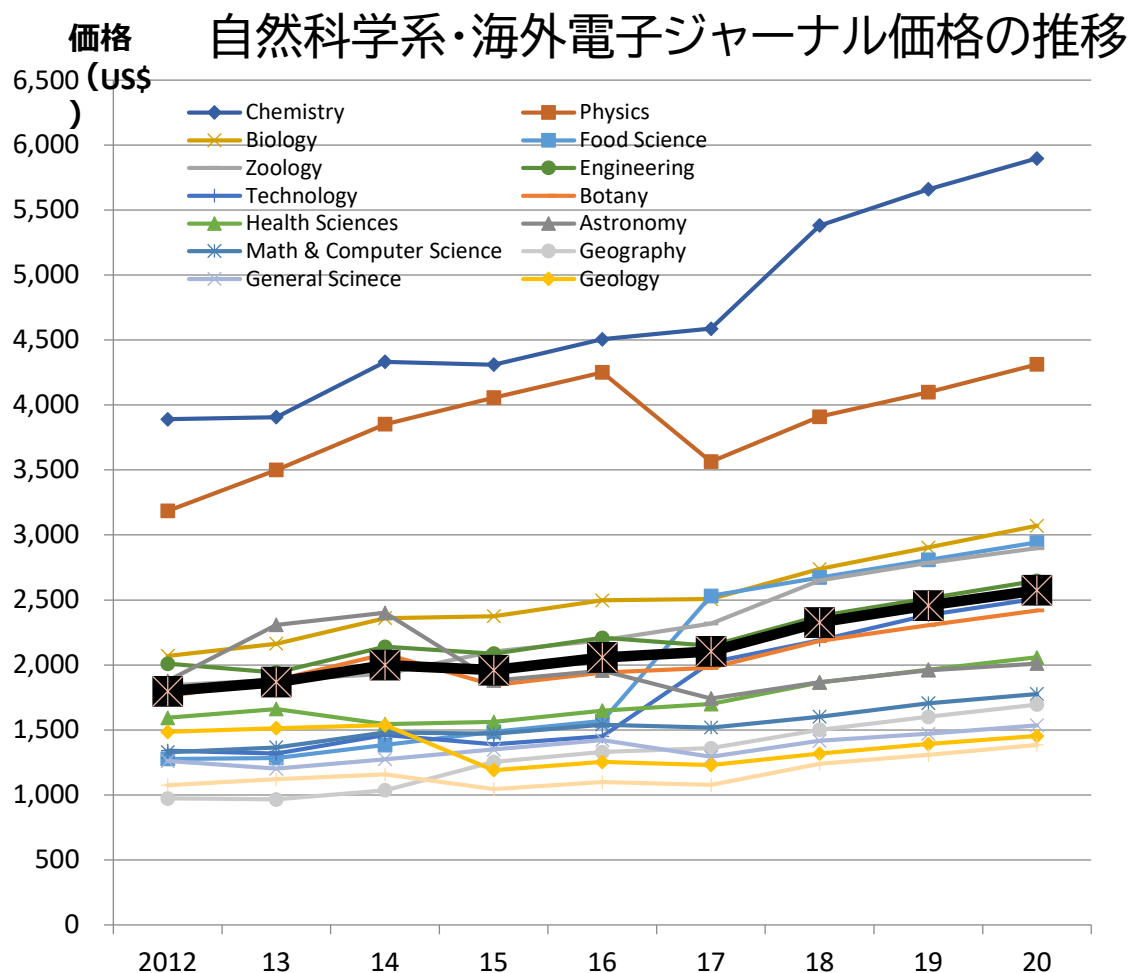
図書館資料費の推移：国公立大学 1大学あたり平均額



大学図書館資料費の推移 1975～2018年(xlsx) 2020.10.2更新. <https://www.nii.ac.jp/content/justice/documents/expenditure2020.xlsx>

(文部科学省「学術情報基盤実態調査」を基に、JUSTICE事務局で作成したグラフ)

# 自然科学系4.64%、 人文社会科学系5.46%の価格上昇(9年間平均)



2012年から2020年までの"Library Journal"に掲載された"Periodicals Price Survey"による。[https://www.nii.ac.jp/content/justice/documents/JournalPrice\\_2020.pptx](https://www.nii.ac.jp/content/justice/documents/JournalPrice_2020.pptx)  
2016年以前は母数が異なるため、値は参考値。〔JUSTICE事務局作成〕



# 現在地と目的地の 再確認



# ◆自機関は、APCにいくら支払っているのか？

## 著者所属機関別の集計(2017)

			フルOA誌		フルOA誌以外		合 計		
順位	機関名	公表論文数	OA論文数	APC支払推定額	OA論文数	APC支払推定額	OA論文数	APC支払推定額	OA率
1	東京大学	3,857	595	¥115,455,167	664	¥114,132,594	1,259	¥229,587,761	32.6%
2	京都大学	3,136	457	¥89,016,229	443	¥75,262,362	900	¥164,278,591	28.7%
3	東北大学	2,321	310	¥58,055,106	370	¥54,487,626	680	¥112,542,732	29.3%
4	大阪大学	2,175	351	¥65,666,578	375	¥62,652,112	726	¥128,318,690	33.4%
5	北海道大学	1,939	268	¥50,524,296	294	¥38,975,584	562	¥89,499,880	29.0%

# 助成団体の方針

## 科学技術振興機構(JST)

- ◆ オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針(2017.4)
- ◆ 「全ての研究成果論文を、原則としてオープンアクセスの対象とする。」

### 1. 研究成果論文のオープンアクセス化

JSTが研究資金を配分し実施する研究プロジェクト等（以下、「研究プロジェクト」と呼ぶ。）の成果に基づく研究成果論文（以下、「研究成果論文」と呼ぶ。）を原則としてオープンアクセスの対象とする。オープンアクセスとは、論文等の学術情報をインターネットから無料で入手でき、誰でも制約なくアクセスできるようにすることを意味する。基本方針ではオープンアクセス化する方法として、

- ① 著者最終稿<sup>1</sup>等を国の施策として進めている機関リポジトリ<sup>2</sup>等を活用し公開する方法<sup>3</sup>
  - ② 研究者等がオープンアクセスを前提とした学術誌等に研究成果論文を発表する方法<sup>4</sup>
- を掲げており、①を推奨、②は選択可能としている。

# 日本学術振興会(JSPS)

- ◆ 科研費論文のオープンアクセスにかかるリーフレット  
(内容はHPで公開)
- ◆ 科研費の助成を受けて執筆した論文のオープンアクセス化を推奨



## 制度概要

### オープンアクセス

オープンアクセス化は世界規模で拡大しています

学術研究を進める上で、論文などの研究成果の発表とその活用は欠かせません。かつては、印刷された学術誌が情報流通の中心でしたが、インターネットをはじめとするICTの発展に伴って、オンラインによる情報流通が可能になりました。また、ジャーナルの購読料高騰の問題などもあり、世界規模で急速に論文のオープンアクセス化が拡大しています。

# 大学としての方針

## ◆OAポリシー・実施要領を公開している大学の例

大阪市立大、大阪府立大、岡山大、沖縄科学技術大学院大、金沢大、京都大、九州大、神戸大、国際日本文化研究センター、島根大、国立極地研究所、千葉大、筑波大、電気通信大、東京外国語大、東京歯科大、東北大、徳島大、名古屋工業大、名古屋大、一橋大、広島大、北海道大、北陸先端科学技術大学院大、横浜国立大

## 北海道大学オープンアクセス方針

令和元年6月25日役員会決定

### （趣旨）

1. 北海道大学（以下「本学」という。）は、本学の4つの基本理念と長期目標に基づき、本学の研究成果を広く学内外を問わず公開することにより、学術研究のさらなる発展に寄与すること、またその成果を社会に還元すること地域および国際社会の持続的発展に貢献することを目的として、オープンアクセスに関する方針（以下「本方針」という。）を以下のように定める。

### （研究成果の公開）

2. 本学は、出版社、学協会、学内部局等が発行する学術雑誌等に掲載された、本学に在籍する職員による研究成果（以下「研究成果」という。）を可能な限り、広く無償で公開する。

### （公開方法）

3. 研究成果は、以下のいずれかの方法によって公開する。

- （1）「[北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP : Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers）](#)」（以下「[HUSCAP](#)」という。）に登録する。
- （2）オープンアクセスジャーナルに掲載する。
- （3）論文のオープンアクセス・オプションを選択し、出版社ウェブサイトに掲載する。
- （4）外部の機関が設置するリポジトリ等に登録する。
- （5）その他、総長が特に認めた方法

### （適用の例外）

4. 著作権その他やむを得ない理由で公開が不適切である場合、本学は当該研究成果を公開しない。

# 関連団体の動向

## 電子ジャーナル検討部会

◆ジャーナルによる研究成果の受発信に係る事項を議論

## JUSTICE(大学図書館コンソーシアム連合)

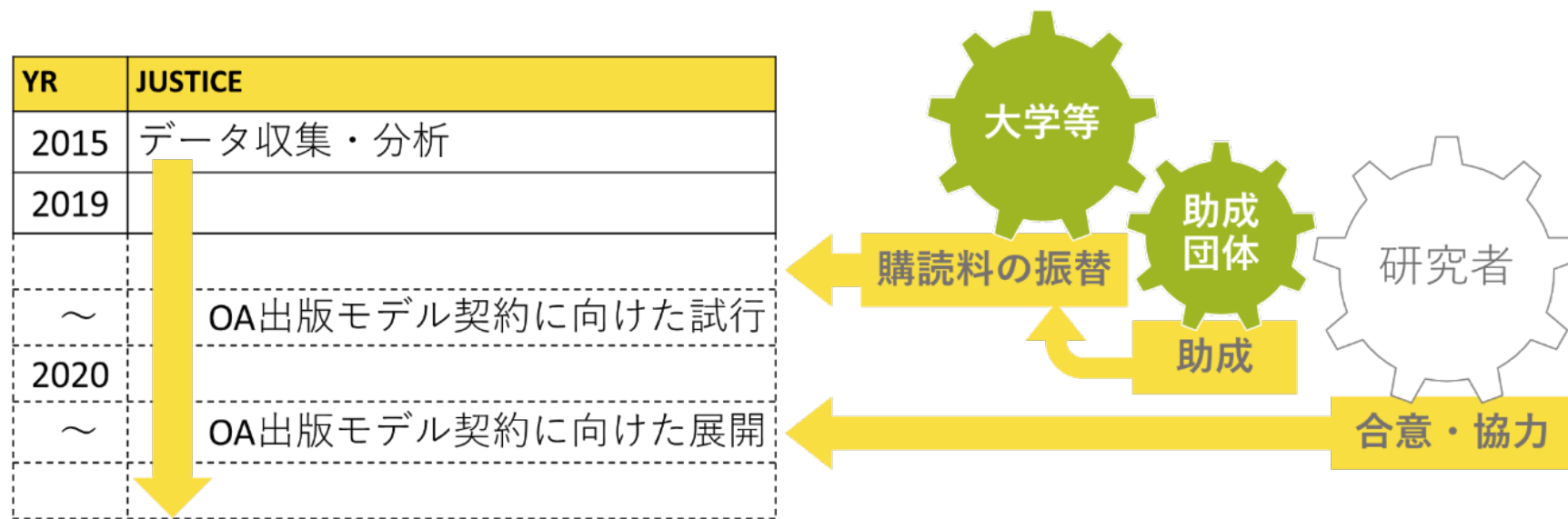
◆2011年4月1日設立, 全国の国公私立大学、共同利用機関、省庁大学校548館(2020年6月1日現在)

◆出版社交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定が主業務

◆これまでは、購読モデルに係る交渉が中心



- ◆2019年3月、OA出版モデル実現までの移行期を乗り越える道筋を明らかにするため、ロードマップを策定
- ◆2019年8月、CUPとRead & Publishモデル提案に初めて合意







OAの流れは確実に流量を増している。

Gold OAが唯一の解ではないが、  
大学として何を目指し、どのような対応をとるのか、  
検討したうえで選ぶ取る段階に来ている。



ご清聴  
ありがとうございました

y.tomomi@lib.hokudai.ac.jp

